

## 府民公募型安心・安全整備事業審査委員会（京都市域） 開催結果

日 時 平成24年10月16日（火） 10:00～11:00  
場 所 自治会館役員会議室  
委 員 同志社大学政策学部教授 今川 晃（座長）  
京都商工会議所産業振興部長 稲垣 繁博（代理出席 外池まちづくり推進担当課長）  
京都市建設局長 西村 文治（代理出席 河嶋土木技術担当局長）  
京都府総務部長 中野 祐介（代理出席 西川総務部副部長）  
京都府建設交通部長 伊勢田 敏（代理出席 杉山建設交通部副部長）  
京都府教育委員会管理課長 石田 斉（欠席）  
京都府警察本部交通規制課長 吉川 潔

### 1 提案状況の報告について

応募状況について報告

- ・ 京都市域 64件  
（建設関係15件、警察関係49件）
- ・ 府内全域 1,447件  
（建設関係1,035件、教育関係3件、警察関係401件、その他8件）

### 2 事業実施報告について

前回、36件について審査済みであり、今回、28件について審査を行い、技術審査結果のとおり10件について全委員とも実施が相当との意見であった。また、市町村協働型事業7件について実施報告し、全委員とも全件実施が相当との意見であった。

### 3 委員の主な意見について

- ・府民公募型の5番のバス利用者のための事故防止対策にかかる信号機の設置については、比較的に車の通行量も多いため、特に中川地区からも（京都市に）要望があるところであり、今回の実施についてはありがたく思っている。また、実施にあたって、カーブで曲がる2車線式の交差点には2灯式信号が採用されることが多いが、どのような形で信号機の設置を考えられているか。できれば安全面からも予告信号の設置などについても併せて検討願いたい。  
→ この地点では各方向2灯以上の設置を予定している。また、予告信号も設置予定であり、交差点における事故防止と歩行者の安全確保に努めて参りたい。
- ・府民公募型の14～16番の視覚障害者協会からの提案については、視覚障害者の安全の確保という観点からも特に必要と思えるが、信号機に視覚障害者用付加装置

の設置をするに当たって難航している地元意見との調整とは、こういった意見が出てきているのか。

→ 視覚障害者協会からは毎年要望が上がってきているところであるが、今まで静かだった地域に常時(夜間の消音対応は可能にしても)音が出ることになるため、地元町内会等で十分な説明・調整が必要となっており、その中で、在宅療養者や受験生がいるといった難色が示される事が多く、既得権を優先せざるを得ず調整が難航しているのが現状である。また、商業地域(特に四条商店街通)は一带に視覚障害者用付加装置がないため、何とか設置を検討しているが、こちらも営業の都合などから調整が難しいところである。

- ・吉祥院久世線における信号機の設置については現在、当該道路の幅員拡張工事を行っているところであり、歩行者の安全確保のためにも、ぜひともよろしくお願ひしたい。
- ・府民提案型の23、25番の路面表示の提案に関しては周辺事情を勘案した上で交通規制は実施しないということだが、道路管理者と安全対策を行っていることを、提案者方に上手にお伝えいただきたい。
- ・府民提案型の4番と7番はどちらも信号機の設置提案であり、周辺地域からの意見に賛否両論があって調整が取れていないようだが、4番の提案は『今回は実施しない。』となっているが、7番の提案は『今回は実施しない。継続検討とする。』となっており、何か違いがあるのか。
  - 書き方だけでどちらも引き続き検討していくものであり、調整が取れば何らかの形で実施する方向である。